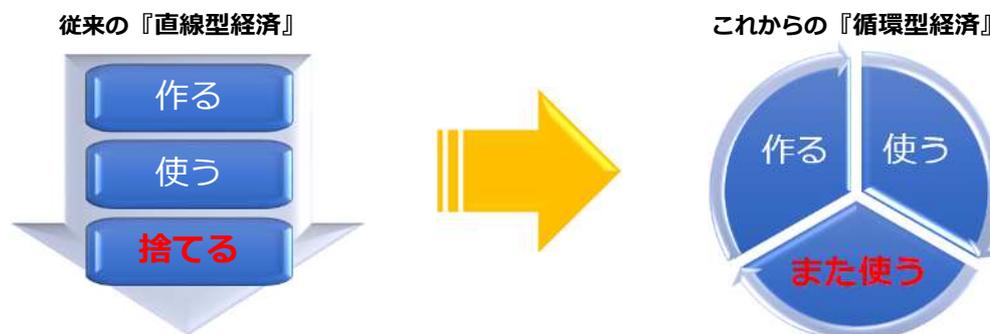


塩田工業が担う『サーキュラーエコノミー』



サーキュラーエコノミーとは『循環型経済』のこと



「作る・使う・捨てる」から「作る・使う・また使う」に変えて経済を回していく

サーキュラーエコノミーはなぜ必要？

地球資源の限界

このままでは、近い将来地球の資源が枯渇し、環境負荷が増大して「地球の限界」を迎えることが確実。

地球環境の危機

気候変動や異常気象など、すでに私たちの日常生活でもその影響を感じざるを得ない状況。

持続性の限界

これまでの直線型経済では、資源の無駄が極端に多く、廃棄物の増加により環境汚染も進む一方で、このままでは持続的に経済を発展させていくことは不可能。

サーキュラーエコノミーはこれらの課題に対処するための「経済モデル」で、タイムリミットが迫る中、全世界で早急の実現を求められている。

リサイクルとの違い

リサイクルは、廃棄物の再利用「3R (REDUCE・REUSE・RECYCLE)」
一方、サーキュラーエコノミーは廃棄物が発生しないようにすることが前提。

サーキュラーエコノミーの市場規模

関連市場は国内外で急速に成長！

2030年までに全世界で4.5兆ドル（日本円で約670兆円）
日本国内だけでも約80兆円の(2030年までに) 経済価値を生み出すとされている。

塩田工業が貢献できること！

- ✓ 製品・資源を、「高い価値の状態のまま」循環させる
- ✓ 製品のメンテナンス・改良により、「精度を蘇らせ、新たな価値を付与」する
- ✓ 現状「使われていない」資産からも新たな価値を生み出す

SDGsとの関係性

SDGsは『目標（ゴール）』

サーキュラーエコノミーは『経済システム』

※サーキュラーエコノミーは、SDGsという目標を達成する手段のひとつ

